



曾我部 秀司 議員

**問** 以前、「余裕のある保育士の確保」と私は発言したが、自治体によって、保育士配置基準を引き上げているところもある。

**答** 本町の配置基準を引き上げ、保育希望数により、国の配置基準との間で定員の弾力化を行えば、保育士の負担も極端に増えることもなく、待機児童が発生する可能性は低くなるのではないだろうか。

本町の配置基準を引き上げ、その基準で保育士を確保する考えは。

**答** 提案の「余裕のある保育士の確保」は、保育士不足から町立保育所の入所ニーズに比べられない本町の状況を踏まえると、効果的な方策であると考ええる。

これまででは、毎年度、年齢別児童入園見込数を基に、国の保育士配置基準に基づき必要な保育士数を積算していた。今後は、

提案のとおり、年齢別児童入園見込数を基に、改善後の国の基準よりも高い町独自の保育士確保のための基準を設ける。これに基づき必要な保育士数を積算する。

**問** 令和8年の出生数目標値を210人と設定するならば、保育士を増やさなければならぬ。今後の保育士確保の計画は。

**答** これまでは、翌年度に必要な保育士数を積算し、不足する保育士を確保していた。

今後は、向こう5年間の各年度において必要となる保育士数を町独自の保育士確保のための基準に基づき積算し、中期的な視点に立った計画的な確保に努める。



藤岡 緑 議員

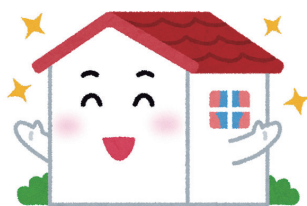
**問** 増え続ける空家の抜本的対策として、危険空家の対策だけでなく有効利用しやすい方策を。

**答** 平成29年度に町内の空家の実態調査を行い、把握できた332戸の空家につき外観目視による老朽度で5段階に選別し「松前町空家等対策計画」を策定した。所有者等に対して売却や賃貸の希望の有無も調査した。

令和2年度以降、コロナ禍で継続的な調査や利活用促進の検討は進んでいない。情報提供の手法である空家バンクは県の委託で運営している「えひめ空家情報バンク」で、これに引き続き掲載していく。

本町では、県外からの移住者のために購入または賃借した一戸建て住宅の改修や家財道具の搬出経費の3分の2以内の額で100万円を上限に補助できるのだが、今のところ活用実績がない。

今後も研究していく。



**問** 松前町議会議員選挙2023の選挙公報の発行と、今後の投票率低下の改善策は。

**答** 選挙公報の印刷は、告示日の立候補受付を締め切った後、各候補の掲載順序を決めるくじを行い、原稿の完成・印刷・仕分け作業と3日程度かかる。今の技術では期日前投票の最終日の朝刊折込となる。そのため、告示日翌日の午前中に町のHPに選挙公報のデータを公開している。

投票率対策は、従来の選挙時の広報活動や選挙時以外でも若年層への主権者教育は続行する。大型商業施設への期日前投票所の開設は、安全性と効率性が構築できれば費用対効果を考慮しつつ検討する。